



# 2010・夏 喜多方市板の沢集落調査

法政大学現代福祉学部図司ゼミナール



# はじめに

私たち図司ゼミナールは主に農山村地域の地域づくりについて学んでいます。

今回、**福島県喜多方市・板の沢集落**の地域活性化事業のお話を先生から聞きました。

私たちは、新潟県小千谷市の地域活性化のお手伝いをした経験もあり、その経験を生かせるのではないかと考え、この事業に参加させていただきました。

# 板の沢集落の概要



板の沢



# 世帯状況

◆人口

**35人**(男性**14人**・女性**21人**)

◆戸数

**10戸** (8人家族もいます)

◆高齢化率

**40%**



平均年齢

全体 57.7歳

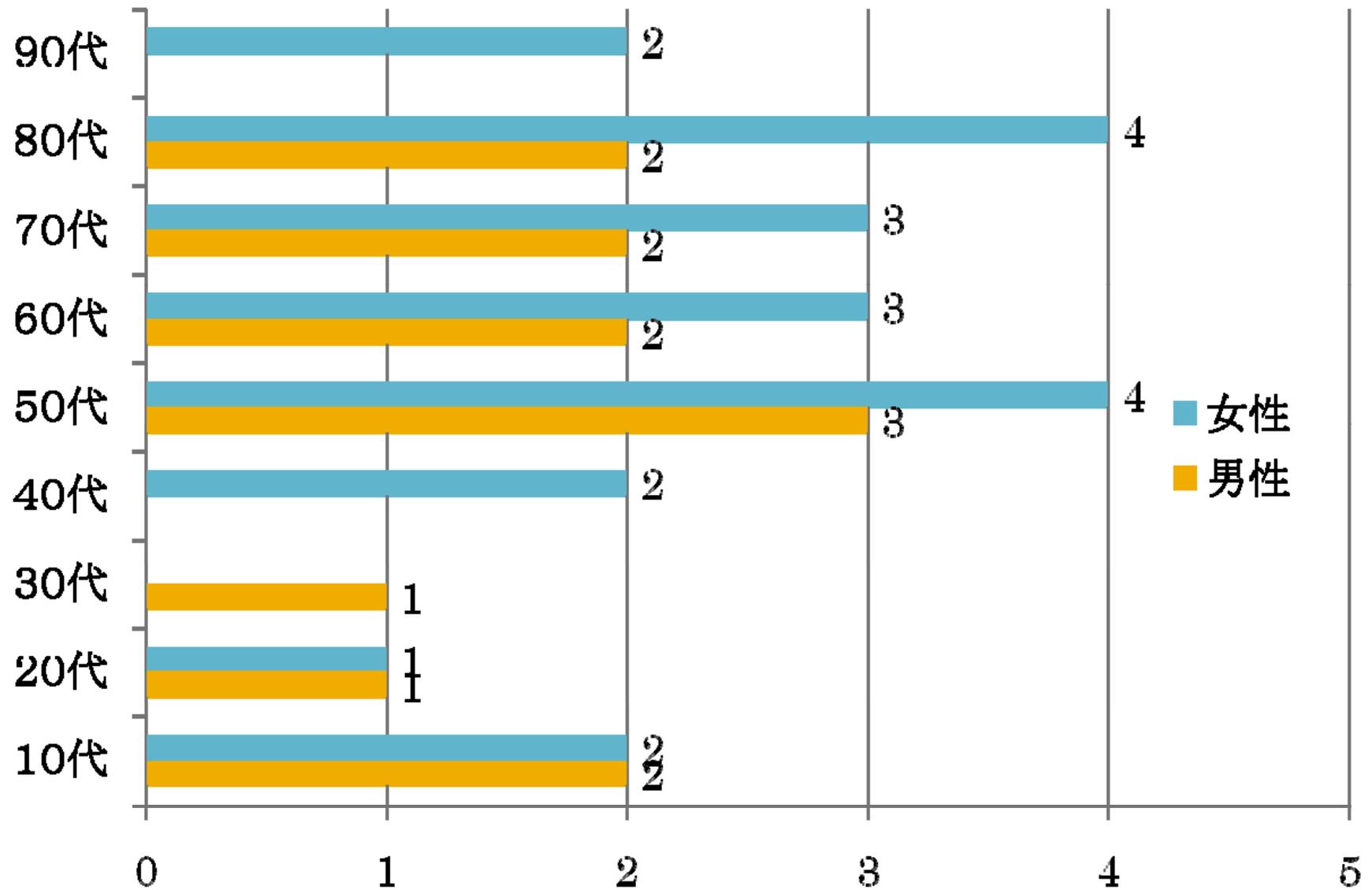
男性56.5歳

女性58.4歳

最高齡91歳

最年少15歳

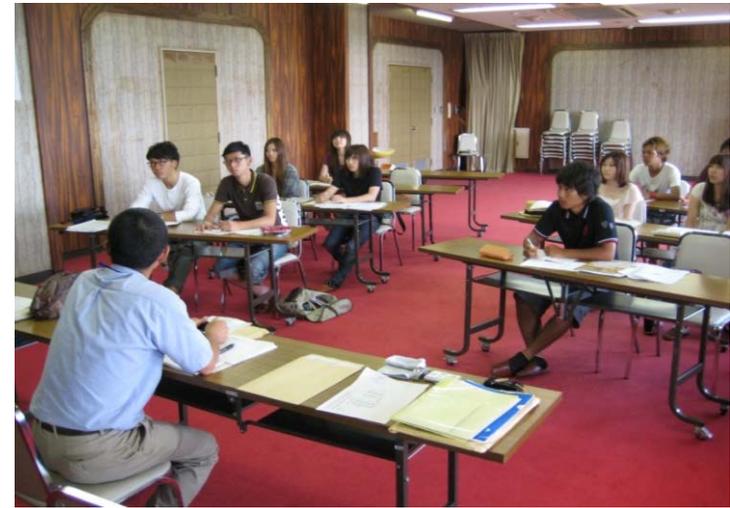
# 板の沢集落 年代別性別分布



# 日程・活動内容

8月29日

- ・ 喜多方市概況  
集落対策説明



- ・ 対面式  
集落の人たちと顔合わせを  
しました。



# 8月30日

## ・ヒアリング訪問

午前中に5戸、午後に4戸の家に訪問させてもらって、主に村の状況や問題点などを聞かせてもらいました。



# 8月31日

- ・集落歩き

空き家調査や農作物の見学

- ・お宮掃除

集落の方と草刈り等でお宮を掃除

- ・交流会

集落の方とバーベキューをしました。



# 9月1日

## ・意見交換会

3泊4日の活動の最後に学生と集落の方が、集会所に集まりました。

- ヒアリング
- 村歩きでの集落の印象
- 今後について考えたこと

などについて意見交換をしました。



# 板の沢MAP



# 喜多方市板の沢集落調査

法政大学現代福祉学部同司セミナー

① 日程・活動内容

- 8月29日
  - 喜多方市概況・集落対策説明(佐藤さん他)
  - 対面式
- 8月30日
  - ヒアリング訪問
- 8月31日
  - 集落歩き
  - お宮拝除
  - お別れバーベキュー
- 9月1日
  - 補足調査
  - 意見交換会

② 世帯状況

最高齢 84才  
最年少 15才

<人口>	<戸数>	<高齢化率>	<平均年齢>
35人 (男性 14人, 女性 21人)	10戸 (8人家族のみ3戸)	40%	全体 57.7才 男性 56.5才 女性 58.4才

### ③ 特徴・課題・気になったこと

- 集落内の意識の共有 → セアリングで感じた
- 学生ができる事は集落の寂しさを見つける
- 長く住むということよりも、まずは板の沢を知ってしまえば大丈夫 →
- 集落の魅力は人。今回、住民の人達と信頼関係ができた →
- 昔やった行事はできないのか →
- セメサユリ祭の参加率が低い →

- ほとんどの人が畑を自分の代で終わらせようと思っている
- 上回の訪問では足りないのでもた他の季節に訪れたい!
- 緊急時の対応が曖昧?
- 猿被害が深刻であるが板の沢集落だけで解決するのは難しい!

### ④ 今後に向けた提案

- 農業体験や...
- ドレカボチャ製品を作る
- 例) ケーキ、プリン、コロッケなど
- 板の沢のまろろを売る・住民の方も
- 空き家を利用する → 宿泊OK! 1泊一泊に!!
- 田舎暮らし体験ツアーを行う
- 野菜の販売 →

\* 1回訪問しただけで偉そうな事は言えないと思った  
これから訪問を重ねて集落の人と絆を深めていきたい

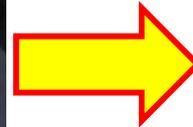
**ゼミで話し合ったことを模造紙にまとめ、  
農山村集落元気塾で発表をしました**

# 10月26日 元気塾

- 元気塾という、農山村集落の支援塾にて中間発表をしてきました。
- その後、村歩きをしてワークショップを行いました。



# ワークショップ



# 村歩き



新聞にも取り上げてもらいました





**以上のことを踏まえ**

**板の沢集落について**

**もう一度考えてみたところ・・・**

# 私たちが見つけた板の沢の宝！

キーワードは **人！＝マンパワー！**

集落の住民による**主体性**に始まる



- ①集落の問題点・課題を住民同士で共有
- ②自分たちで出来ることと出来ないことを把握
- ③目的を立てて必要な人材・資源・材料を確保

今回はその人材の一つとして学生が集落の**柱**になる。

住民の  
意識力

ヒメサユリの魅力！

自然豊かな景色や伝統料理



棚田  
もみの木  
クジラ山  
石清水



**今ある資源でできることがある！！**

外の意見を積極的に聞こう。

お互いに信頼関係を築くのが大事だね。



人力=マンパワー



# 板の沢に足りないものは・・・？

- 人口が減ったことによる行事の衰退
- 知名度が低い、外部から人が入ってこない
- 魅力を活かしきれていない

- ・ 集落内の意識の共有ができていない
- ・ 情報発信をしていない
- ・ 農業の担い手不足
- ・ 緊急時の対応の曖昧
- ・ サル被害

# 板の沢で出来そうなことは・・・

- 集落内外における交流  
⇒ 新しい行事を作る
- 今ある資源(宝)の有効活用  
⇒ ドテカボチャ製品  
⇒ 空家の利用
- 農業体験、田舎暮らし体験ツアー
- 板の沢のキャラクター

# 学生にできることは・・・？

集落の  
宝探し

魅力を  
伝える

他の季節も知る  
今後も訪問する

自分たちに出来ることは何か考えていく

学生目線で具体的な提案をする

## 課題

- ・行事の衰退
- ・知名度が低い
- ・魅力を活かすこと

3つの要素を板ノ沢に入れると・・・

## 今ある資源

- ・人
- ・ドテカボチャ
- ・空家
- ・行事

板ノ沢

## 提案

- ・駅伝大会
- ・ハロウィンパーティ

## 学生ができること

- ・宝探し
- ・情報発信
- ・提案

# 提案①：駅伝・マラソン大会

・なぜ、駅伝・マラソンなのか？

→福島県は駅伝強豪校・有名な選手がいる!!  
EX)田村高校、いわき総合など  
東洋大の柏原選手

→現代のランニングブームに便乗する

→山道を生かすチャンス



# 駅伝・マラソン大会の内容

- 板の沢をゴールとして駅伝大会を開催
- 空き家を宿泊施設として格安で提供
- 食事は板の沢ならではのものを提供  
(こづゆ・ドテカボチャ・山菜など)



## 提案②: ハロウィンパーティー

●なぜ、ハロウィンか？

→ドテカボチャのPR

→祭りの再開催

→集落に外部の人を泊めるチャンス



# ハロウィンパーティー内容

- かぼちゃを使って棚田をライトアップ
  - ・くり抜いたかぼちゃを利用
  - ・集落全体を飾り付ける
- カボチャ料理の販売



# ターゲット

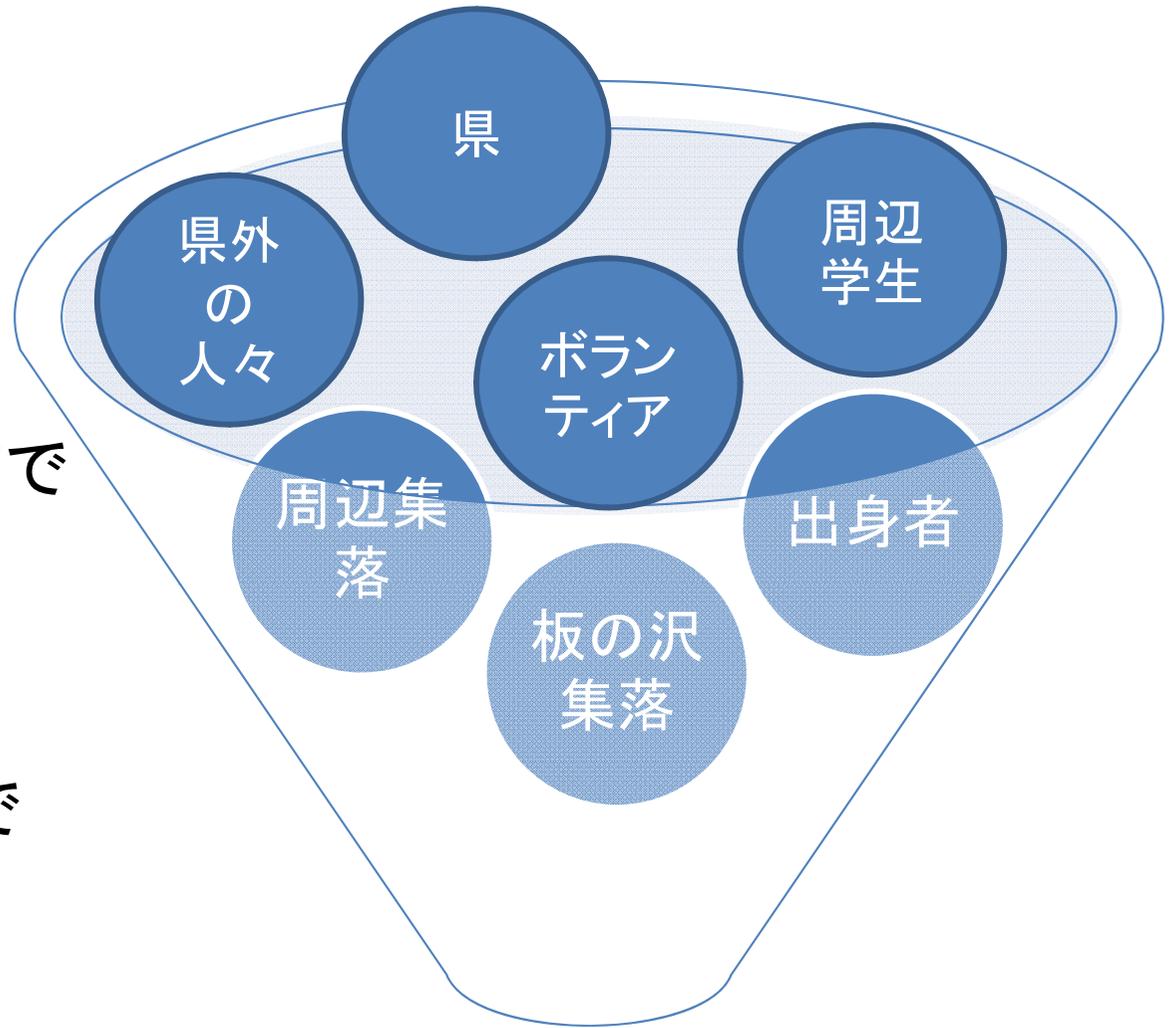
駅伝  
中学生～中年の方々まで

+

ハロウィン  
小さな子～高齢者まで



幅広い年齢層を望める!!



郷土愛・愛着心



when

- 駅伝・マラソンは秋か春??
- ハロウィンは秋か夏!!

Where

- ふもとをスタート板の沢をゴール!
- 集落でパーティ

who

- 法政大学、福島陸協、ボランティア、集落の方々など

開催へ！！

ステップ!!

# メリット



- 集落住民のマンネリ化脱却
- 外部との交流の機会が増える
- 今以上のマンパワーに！
- 集落全体が協力する機会になる

# 今後に向けて

## 集落

今より多くのドテカボチャ栽培

空家の改装  
EX)豚小屋を宿泊施設にする

道路の清掃

集落の意識の共有  
→全員が同じ意識で取り組まなければいけない

## 学生

再度訪問する

集落の人と意見交換

学生ならではの  
意見を出す

イベントに参加して  
盛り上げる!

ご清聴ありがとうございました



完